

25年3月主要5港コンテナ統計 概要

○3月の5港コンテナ貨物量 依然コロナ前水準を回復せず

- ・5港計の前年同月比は4か月連続増の1.0%。直近1年間は2.1%増。コロナ前(19年)比は▼5%減。
- ・輸出実入の前年同月比は2か月ぶりの▼0.3%、直近1年間比▼1.9%。コロナ前比は▼7%。
- ・輸入実入は7か月連続増の3.5%、直近1年間比5.1%増。コロナ前比▼4%。

○3月の各港

- ・輸出の5港計の前年比の増加は、1.0%。東京、大阪の2港が増加。19年比は全5港とも▼。
- ・東京の計(3.1%増)は、12か月連続増。増の要因は輸入実入(6.6%増)と輸入空(30.6%増)。
憂慮すべきは輸出実入▼2.0%で9か月連続減。直近1年間比▼9.5%。航路別では東南アジア航路の不振の影響が大きい。
輸入実入は12か月連続増。直近1年間比は8.2%増。19年比は▼3%で再び▼に陥落。
- ・横浜港の計(▼3.4%)は2か月連続減。減の要因は輸入実入が2か月連続減で▼0.9%。輸出実入も3月は減で▼0.2%。空コンは輸出入とも2か月連続減。
同港計の3月の19年比は、3か月連続減で▼4%。24年3月から25年の3月までの13カ月間に増は8か月であった。この間の5港計の19年比の増は3カ月に過ぎなかった。横浜港の好調が目立ったが、2月から終息した可能性が強い。今後はトランプ関税の影響が注目される。

○空コンの動向

- ・23年10月から紅海での商船攻撃によりスエズ運河を迂回し喜望峰経由を余儀なくされている。航海日数の増加で空コンは過剰から、一時、不足に転じた。空コン輸入の増減幅は、実入と比較して大きい。
- ・5港の空コンの輸出は、約20万TEUで前年同月比4%増、19年比は▼2%で。落ち着いた動きである。
- ・5港の空コンの輸入は23年10月～12月は月間約5万TEUと19年比で2倍と大幅増であったが、24年1月は約2万TEUと半減した。2、3月は5万TEU台に上昇したが、4月以降は、2万～3万TEU台。12月は約4万TEUでやや増加したが25年1月～2月は2万TEU台に、3月は3.6万TEUで19年比は▼17%。近時、大変動は無い。
- ・神戸港に23年8月に当NPOから要望した航路別統計については、2022年報に公表され、月報には24年4月発表の1月報から掲載されている。

3月の主要5港コンテナ統計貨物量 ■は増加、▼は減少、◇横ばい

	前年同月比	当月を含む3カ月の傾向	24年4月～25年3月	コロナ前(19年3月)
5 港 計	1.0%■	4カ月連続増 ■ ■ ■	2.1%■	5%▼
輸出	1.2%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	1.6%■	5%▼
実入	0.3%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	1.9%▼	7%▼
空	4.2%■	10カ月連続増 ■ ■ ■	7.9%■	2%▼
輸入	0.8%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	2.7%■	5%▼
実入	3.5%■	7カ月連続増 ■ ■ ■	5.1%■	4%▼
空	28.3%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	26.7%▼	17%▼
東京 計	3.1%■	12カ月連続増 ■ ■ ■	3.7%■	7%▼
輸出	1.4%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	0.2%■	12%▼
実入	2.0%▼	9カ月連続減 ▼ ▼ ▼	9.5%▼	12%▼
空	0.8%▼	11カ月ぶりの減 ■ ■ ▼	9.1%■	12%▼
輸入	6.7%■	12カ月連続増 ■ ■ ■	6.7%■	2%▼
実入	6.6%■	12カ月連続増 ■ ■ ■	8.2%■	3%▼
空	30.6%■	2カ月ぶりの増 ■ ▼ ■	59.1%▼	108%■
横浜 計	3.4%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	0.9%■	4%▼
輸出	1.0%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	2.9%■	2%■
実入	0.2%▼	2カ月ぶりの減 ▼ ■ ▼	2.4%■	4%■
空	4.0%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	4.5%■	4%▼
輸入	6.2%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	1.4%▼	10%▼
実入	0.9%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	5.1%■	6%▼
空	34.7%▼	2か月連続減 ■ ▼ ▼	43.8%▼	33%▼
神戸 計	2.6%▼	3カ月連続減 ▼ ▼ ▼	0.1%▼	7%▼
輸出	4.0%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	2.1%■	5%▼
実入	5.0%■	2カ月連続増 ▼ ■ ■	1.7%▼	10%▼
空	0.3%▼	3カ月ぶりの減 ■ ■ ▼	17.4%■	24%■
輸入	9.9%▼	2カ月連続減 ■ ▼ ▼	2.6%▼	10%▼
実入	9.5%▼	4カ月ぶりの減 ■ ■ ▼	0.8%▼	12%▼
空	12.9%▼	6カ月連続減 ▼ ▼ ▼	17.6%▼	18%■

出所：各港港湾統計を基に作成。ただし、2025年2月及び3月の大阪港は速々報値。

(注) 神戸港の輸出空コン 21年8月から増、23年5月まで22か月連続増。

3月の東京港の航路別の入港隻数

- 韓国航路と中国航路は増加。[北米＋欧州]航路と東南アジア航路は減少。
- ・ [北米＋欧州]航路は30隻、前年同月より▼6隻。直近1年間34隻で▼、前前年1年間36隻で▼。
 - ・ 東南アジア航路は144隻、前年同月は159隻で▼15隻。直近1年間平均142隻で微減、前前年1年間平均149隻より▼。
 - ・ 韓国航路の隻数45隻で前年同月は42隻で2隻増。直近1年間平均44隻から増加、前前年1年間平均42隻より増加。
 - ・ 中国航路の隻数は163隻で前年同月161隻で2隻増。直近1年間平均155隻、前々年1年間平均162隻より微増。

航路	A 3月隻数	B 前年 3月隻数	C=A/B 隻数増減(%)	D=24年4月～ 25年3月の計/12	A/D 隻数増減(%)	E=23年4月～ 24年3月の計/12	A/E 隻数増減(%)	D/E 移動平均 隻数増減(%)
北米＋欧州	30	36	▲16.7%	34	▲12.4%	36	▲17.2%	▲5.5%
東南アジア	144	159	▲9.4%	142	1.3%	149	▲3.5%	▲4.8%
韓国	45	42	7.1%	44	1.3%	42	6.5%	5.1%
中国	163	161	1.2%	155	5.1%	162	0.7%	▲4.2%